

蘆郁(一) 一郎 小説家。大正二年八月十一日東京生れ、昭和十九年一月五日歿(一九三二冊)。本名遠藤敏夫。筆名敏夫、林田龍子、紅蓮寺敏、紅露路郁夫、遠藤敏樹、遠藤生、郁等。昭和八年東京高等工業學校電氣工學科卒。日本電氣株式会社勤務も病を獲て程なく退社。在學中から雑誌『茶わん』編輯に従事。十年『探偵文學』創刊同人。十八年海軍報道班員となる。翌年飛行機事故死。

著書『孤島の魔入』(昭和十六年九月十五日大白書房)、『熱線博士』(昭和十八年二月)『千白大阪・新止壁』、『江戸川亂歩愛読探偵小説集・上巻』(合著・江戸川亂歩編、昭和十二年六月二十日岩谷書店)等。

文献、會津信吉著『昭和空想科学館』(平成十年二月五日千葉・里岬。『地底のエアトピタン』蘆郁(一)郎の生涯』所収)等。